

第2期

木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の
検証について

目 次

I. 第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証	5
II. 基本目標ごとの検証	11
基本目標1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む	13
(1) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援	
－①結婚・出産に対する支援	14
－②子育て支援の充実.....	15
(2) 働きながら産み育てやすい環境づくり	
－①ワーク・ライフ・バランスの促進	16
－②子育て世代の経済的自立支援	17
(3) 「木更津っ子」を育む教育の充実	
－①「木更津っ子」を育む教育の充実	18
基本目標2 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる	19
(1) 農林水産業の成長産業化への支援	
－①有機農業や地産地消の促進	20
－②食育の推進	21
－③新規就農の促進	22
－④有害鳥獣対策の強化	22
－⑤農林水産業の六次産業化・ブランド化に対する支援	22
－⑥水産業の持続的発展に向けた支援	23
(2) 産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援	
－①産業・創業に対する包括的支援	24
－②中小企業等の持続的成長に対する支援	24
－③電子地域通貨「アクアコイン」を活用した地域経済活性化の推進	25
(3) 企業誘致の推進	
－①立地特性を活かした産業集積・企業誘致の推進	26
(4) 観光産業の競争力強化	
－①地域資源を活かした観光振興	27
(5) 安定した雇用の確保	
－①地元企業と求職者のマッチング支援	28

基本目標3 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する	29
(1) 多様なライフスタイルがかなう定住の促進	
－①街なか・農村漁村への定住の促進	30
(2) 快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成	
－①みなとまち木更津の再生	31
－②交通ネットワークの強化	32
(3) 木更津の様々な魅力の情報発信の強化	
－①地域ブランドの構築	33
－②魅力発信力の強化	34
(4) アクアライン等を活かした交流人口の創出	
－①観光客の回遊性向上	35
－②外国人観光客の誘致	36
－③国際交流・国際理解の推進	36
(5) 多様な地域資源を活かした関係人口の創出	
－①都市と農村漁村の関わり方強化	37
基本目標4 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する	39
(1) 市民力・地域力による自立した地域づくり	
－①協働によるまちづくりの推進	40
(2) 生物多様性を育む自然との共生	
－①自然環境や里山・里海の保全	41
－②地球温暖化対策の推進	42
(3) 生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり	
－①健康寿命の延伸	43
－②スポーツ・生涯学習による地域づくり	44
(4) ふるさと木更津づくり	
－①歴史・文化教育の充実	45
(5) 安心して暮らしやすい防災都市づくり	
－①地域防災の体制充実	46
(6) 多様な主体との連携推進	
－①大学や高専等との連携による地域づくり	47
－②広域連携の推進	47
Ⅲ. 地域再生計画認定事業に係る令和4年度の実施効果検証	49

I.

第2期末更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証

「第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」は、地方創生の推進に向けた政策分野を定め、その基本目標や施策の基本的方向性、具体的な施策を示したもので、令和2年度から令和4年度までの3か年の計画として策定しました。総合戦略の推進に当たっては、実効性を高めるため、4つの基本目標に対する数値目標を設定するとともに、具体施策ごとに重要業績評価指標（以下「KPI」という。）を設定し、これらの数値目標や施策のKPIによる実績の把握を通じ、毎年度終了後、施策等成果の検証や検証結果を踏まえた見直しを行っております。

1 対象

総合戦略に位置付けた4つの基本目標に係る具体的な35の施策

2 検証内容

総合戦略に掲げた取組について、総合戦略の最終年度における基本目標、数値目標及びKPIを比較して、計画期間中に取り組んだ施策や事業の実績を総括・検証するとともに、これまでの取組を踏まえた今後の方針等について検討を行いました。

3 4つの基本目標の総評

基本目標にどの程度近づいているのかを客観的に確認するため、指標として7つの数値目標を位置付けています。

計画期間中は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を大きく受けましたが、総合戦略策定時と比較して、6つの数値目標は基本目標の達成に近づいていることを示しており、このうち2つの数値目標については目標値を達成するなど、概ね順調に基本目標の実現に向けて取り組むことができています。

各基本目標の概要を以下のとおりまとめ、「Ⅱ. 基本目標ごとの検証」において関連する施策や取組の実施内容や進捗状況について検証しています。

（策定時の現状値は令和2年1月時点）

基本目標1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む

数値目標である出生数は、令和2年度から令和4年度までほぼ横ばいで推移している状況であることから、事業の見直しを図りつつ、経済的支援や妊娠期から出産期までの相談支援を一体的に実施するなど、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援により、安心して子どもを産むことのできる環境づくりを進める必要があります。

幼年期（0～4歳）の人口社会増は、年度により増加幅に差があるものの、増加傾向を維持しており、待機児童数の減少を目的とした保育所の環境整備や子育て世帯を対象とした補助事業の実施等、子どもを育てる環境づくりに向けた取組の効果を確認できます。一方で、実績値は目標値の3割にとどまっていることから、更なる増加に向けて取組を見直すことも必要と考えます。

基本目標	数値目標	策定時の現状値	実績値 (R4年度)	目標値 (R4年度)	達成度
1	出生数	813人	956人	1,163人	82.2%
	幼年期（0～4歳）の人口社会増	37人	71人	230人	30.9%

基本目標２ 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる

市内における「らづ-Biz」の支援による新規創業した件数は、令和３年度には７件まで減少しましたが、低金利の融資等、継続した創業支援等により翌年度には１５件まで回復しており、新規就業者への支援や電子地域通貨の流通促進等の地域資源の活用を含め、地域経済の活性化に向けた取組については、概ね順調に進んでいると考えます。

一方で、観光の分野において、新型コロナウイルス感染症の流行を契機としてアウトドアレジャーや少人数化等の観光需要の変化が生じており、就労支援の分野においても、リモートワークやワーケーション等新しい働き方・暮らし方が普及してきていることから、ポストコロナに対応した取組が求められています。

基本目標	数値目標	策定時の現状値	実績値 (R4年度)	目標値 (R4年度)	達成度
２	「らづ-Biz」の支援を受けて新規創業した件数	20件	15件	25件	60.0%

基本目標３ 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する

市内における人口の社会増及び年間観光客入込客数は数値目標を達成しており、街なかへの移住を促進するための補助事業や観光商品の造成・PR等、定住・交流人口の増加に向けた取組については、概ね順調に進んでいると考えます。

一方で、観光の分野において、渡航制限による外国人観光客宿泊者数の減少やこれまで実施してきた「木更津バル」等のイベントの中止など、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている状況があり、ポストコロナに対応した取組の構築に課題があります。

基本目標	数値目標	策定時の現状値	実績値 (R4年度)	目標値 (R4年度)	達成度
３	人口の社会増	612人	1,134人	1,050人	108.0%
	大規模集客施設を除く年間観光入込客数	893千人	1,494千人	1,100千人	135.8%

基本目標４ 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する

目標値には至らないものの、地区まちづくり協議会の設置割合は８割を超えており、市民活動を支援するための設備の充実やまちづくり協議会設立準備のための説明会の開催等、多様な主体との交流による地域自治の強化に向けた取組について、概ね順調に進んでいると考えます。

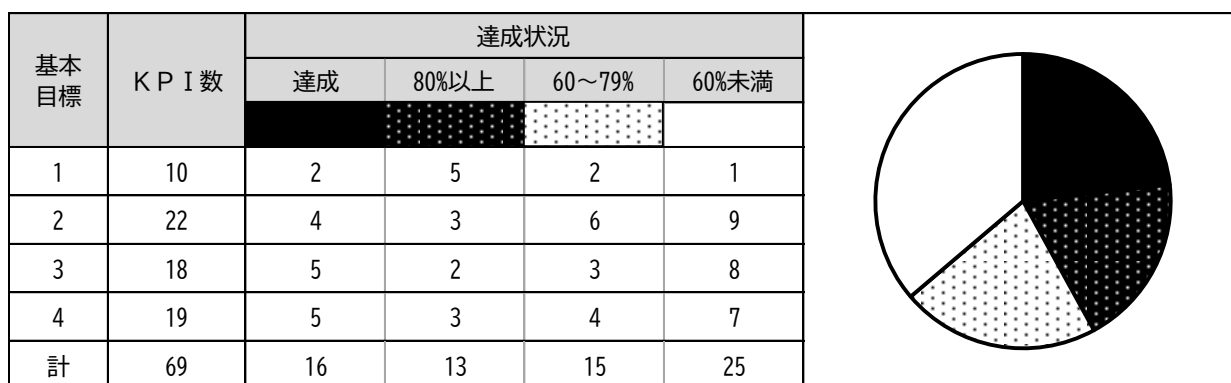
一方で、自主防災実務者講習会や総合防災訓練の開催を通じて啓発を行うことで、自主防災組織数は増加しているものの、自主防災組織活動カバー率は５割にとどまっており、自助・共助意識の醸成に課題があります。

基本目標	数値目標	策定時の現状値	実績値 (R4年度)	目標値 (R4年度)	達成度
４	地区まちづくり協議会設置割合	53%	86.6%	100%	86.6%
	自主防災組織活動カバー率	49.8%	52.7%	70%	75.3%

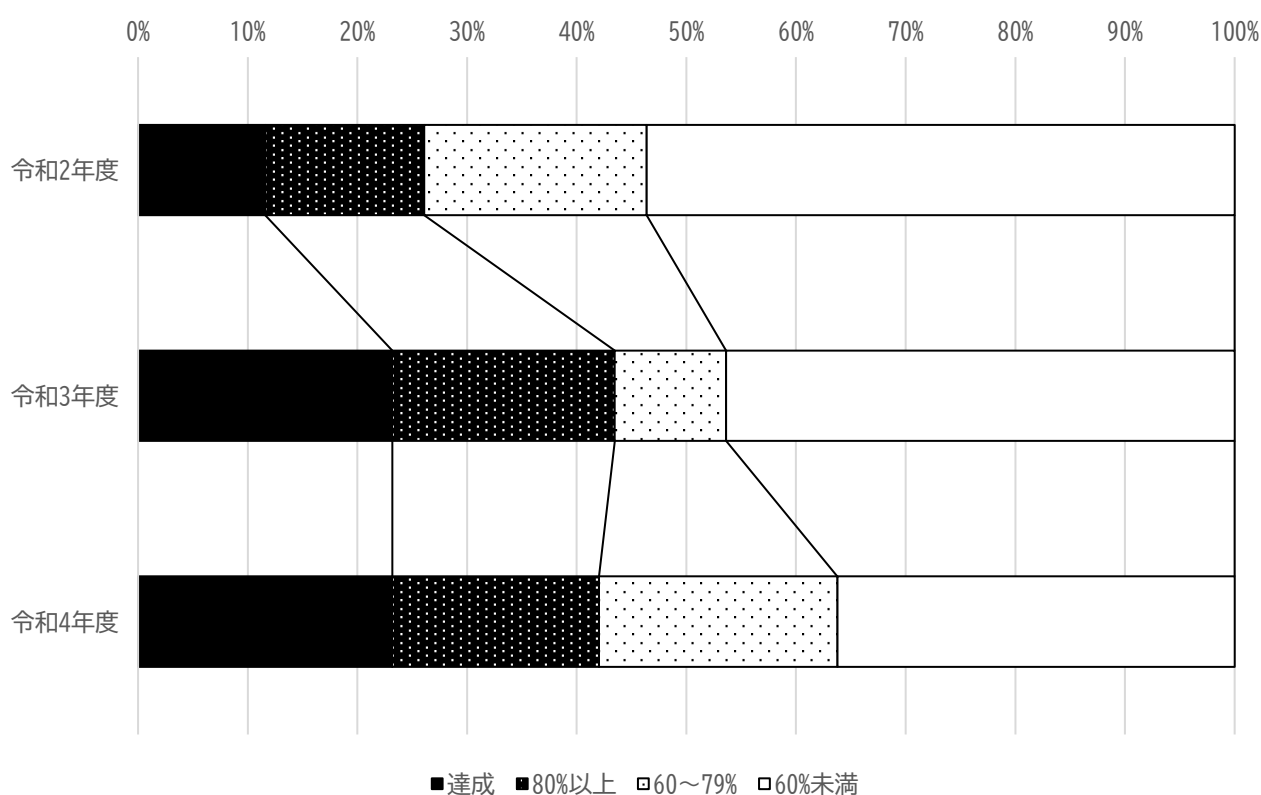
4 K P I の目標達成状況

具体的な35の施策に対し、69のK P I を位置付けています。令和4年度においては、16のK P I が目標値を達成、13のK P I が80%以上の進捗となっていますが、80%に満たない進捗率（未測定を含む）のK P I が40あり、全体の58%を占めています。

年度別の達成状況をみると、達成状況が60%未満であるK P I の割合は年々減少しており、取組の効果が出ていることを確認できる一方で、達成状況が80%以上のK P I の割合は、令和4年度は前年度からほぼ横ばいの推移となっており、事業の進め方や実現性を考慮した目標値の設定等について見直しを図る必要があります。



K P I の目標達成状況の推移



5 計画期間における地方創生に関する取組

「まち」の分野

自立した地域づくりを推進するため、地区まちづくり協議会や自主防災組織の設立・運営に向けた財政的・人的支援を実施し、それぞれの活動も活発化しています。また、街なかマンションへの建設補助・取得助成や市の魅力を伝える情報発信による移住・定住の推進、都市住民の農業体験を通じた交流促進、高速バスの新路線の開設による交通利便性の向上など、地理的優位性や地域資源を活かした取組を推進したほか、観光面では、観光地域づくり法人「きさらづDMO」と連携を図り、PR活動や観光資源の掘り起こしと磨き上げを行い、観光客の誘致に取り組みました。

「ひと」の分野

子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境づくりのために、結婚から妊娠、出産、子育てにおいて切れ目のない支援を行えるよう、子育て世代包括支援センター「きさらづネウボラ」を拠点とした支援や産前産後・家事育児サポート事業を開始しました。また、民間活力による保育士の確保等に取り組み、待機児童が大幅に減少するなど、働きながら産み育てやすい環境づくりを進めました。

さらに、空家の利活用等の定住人口の創出に向けた取組に加えて、地域住民や生産者と観光客の交流拠点としての道の駅「木更津 うまくたの里」の活用やオンラインを活用した姉妹都市との国際交流により交流人口や関係人口の創出に取り組みました。

「しごと」の分野

電子地域通貨「アクアコイン」の普及推進による地域経済の活性化に向けた取組や産業・創業支援センター「らづーBiz」を拠点とした地元中小企業・小規模事業者への伴走型支援を行いました。新規創業件数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり低迷していましたが、「らづーBiz」主催の木更津創業塾の参加者数は増加しており、創業をめざす方からの需要は依然として高い状況にあります。また、企業の立地を促進し、雇用機会の創出を図りました。さらに、農林水産物のブランド化への支援、地産地消や食育の推進に取り組みました。

6 今後の方針について

本戦略は、来るべき人口減少社会を見据え、将来にわたって活力あふれる持続可能なまちの創造に向けて、地域一体となって取組を進めることを目的としております。

国、県の動向や本市を取り巻く環境の変化を踏まえ、第2期総合戦略で根付いた取組の継続性を重視しつつ各取組のより一層の充実と強化を図りながら、第3期総合戦略において施策や事業を展開し、地方創生の更なる深化、加速化を図ります。

また、新型コロナウイルス感染症は、世界規模で大流行し、市民生活や地域経済に多大なる影響を与えました。地域の経済・社会を活性化させ、将来にわたりまちの活力を維持するために、これまでの地方創生の取組を着実にを行うことに加え、感染症を契機とする意識・行動変容を踏まえたひと・しごとの流れの創出を図るとともに、本市の特色を活かした多様な主体の自主的・主体的な取組を促進します。

Ⅱ.

基本目標ごとの検証

記載内容について

総合戦略では施策体系として、4つの基本目標、基本的方向、具体的な施策を設定しています。

ページ数は総合戦略冊子のページ数を表しています。

基本目標1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む(P.7)

数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
出生数	962人 (R2.3.31)	952人 (R3.3.31)	948人 (R4.3.31)	956人 (R5.3.31)	1,163人
幼年期(0歳～4歳)の人口社会増	37人 (R2.3.31)	48人 (R3.3.31)	102人 (R4.3.31)	71人 (R5.3.31)	230人

R4(実績値)については、基本的に令和4年度末の実績値を記載しています。目標値(R4年度)については、総合戦略を策定した際に設定した令和4年度末の目標値を記載していますが、目標を達成し、修正を行った施策は修正した数値を反映してあります。

第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括

結婚・妊娠・出産から子育てにわたる切れ目のない支援として、妊婦個別指導の実施や、産前産後・家事育児サポート事業や産婦健康診査の開始など、子どもを安心して育てられる環境づくりに取り組みました。

働きながら子育てしやすい環境づくりとして、ワーク・ライフ・バランスの促進のための様々なセミナーの開催や市職員の育休の取得推進を行うとともに、子育て世帯を対象とした就労支援セミナーを実施するなど、誰もが働きやすい就労環境の実現に取り組みました。

「木更津っ子」を育む教育の充実として、情報教育の充実のため、教職員のICT活用指導力を底上げするとともに、プログラミング教育をはじめとするICTを活用した学習指導を推進することで、充実した学習環境の整備を図りました。

施策の結果として、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、進捗が遅れている取組もありますが、数値目標である幼年期(0～4歳)の人口社会増は、令和3年度から令和4年度にかけて増加幅は減少しているものの、増加傾向にあることから、子どもを育てる環境づくりに向けた取組については一定の効果が出ているものと考えます。一方で、出生数は計画期間を通じてほぼ横ばい推移しており、少子化が進行している状況であることから、事業の見直しを図りつつ、経済的支援や妊娠期から出産期までの相談支援を一体的に実施するなど、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援が必要です。

今後の方針

第2期総合戦略で根付いた取組の継続性を重視し、地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育むため、活力あふれる持続可能な未来の担い手の創造に向けた取組を推進してまいります。

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援として、待機児童の解消等の保育環境の整備や子育てアプリによる積極的な情報発信等を行うことで、子供を安心して産み育てる環境を整備します。

働きながら産み育てやすい環境づくりとして、子育て期女性が安心して働くことができる環境づくりに取り組み、就職に必要なスキル習得の支援を行うとともに、市内事業者に対し、子育て世帯が働きやすい就労環境づくりの啓発に取り組みます。

「木更津っ子」を育む教育の充実として、教育内容の充実や教育環境の整備により、学校評価による学校満足度の向上をめざすなど、子どもの健全育成のため、放課後子供教室の拡充支援による居場所づくりなど、青少年の自立と共

取組の評価については、令和4年度の実績値に関する取組の評価に加え、令和4年で第2期総合戦略が終了することから、過去3か年の総評を盛り込んでいます。

今後の方針については、実績値を踏まえて、目標値を達成するための今後の方針を記載しています。

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む					
数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
出生数	962人 (R2.3.31)	952人 (R3.3.31)	948人 (R4.3.31)	956人 (R5.3.31)	1,163人
幼年期(0歳～4歳)の人口社会増	37人 (R2.3.31)	48人 (R3.3.31)	102人 (R4.3.31)	71人 (R5.3.31)	230人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	第2期総合戦略においては、安心して産み育てる環境や未来を担う子どもたちを育成する環境の整備に向け、3つの基本方向を設定し、取組を進めてまいりました。 結婚・妊娠・出産から子育てにわたる切れ目のない支援として、妊婦個別指導の実施や、産前産後・家事育児サポート事業や産婦健康診査の開始など、子どもを安心して育てられる環境づくりに取り組みました。 働きながら子育てしやすい環境づくりとして、ワーク・ライフ・バランスの促進のための様々なセミナーの開催や市職員の育児休暇の取得を推進するとともに、子育て中の方を対象とした就労支援セミナーを実施するなど、誰もが働きやすい就労環境の実現に取り組みました。 「木更津っ子」を育む教育の充実として、情報教育の充実のため、教職員のICT活用指導力を底上げするとともに、プログラミング教育をはじめとするICTを活用した学習指導を推進することで、充実した学習環境の整備を図りました。 施策の結果として、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、進捗が遅れている取組もありますが、数値目標である幼年期(0～4歳)の人口社会増は、令和3年度から令和4年度にかけて増加幅は減少しているものの、増加傾向にあることから、子どもを育てる環境づくりに向けた取組については効果が出ているものと考えます。 一方で、出生数は計画期間を通じてほぼ横ばいで推移しており、少子化が進行している状況であることから、事業の見直しを図りつつ、経済的支援や妊娠期から出産期までの相談支援を一体的に実施するなど、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない更なる支援が必要です。				
今後の方針	第2期総合戦略で根付いた取組の継続性を重視し、地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育むため、活力あふれる持続可能な未来の担い手の創造に向けた取組を推進してまいります。 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援として、待機児童の解消等の保育環境の整備や子育てアプリによる積極的な情報発信等を行うことで、子どもを安心して産み育てる環境を整備します。 働きながら産み育てやすい環境づくりとして、子育て期の女性が安心して働くことができる環境づくりに取り組み、就職に必要なスキル習得の支援を行うとともに、市内事業者に対し、子育て世帯が働きやすい就労環境づくりの啓発に取り組みます。 「木更津っ子」を育む教育の充実として、教育内容の充実や教育環境の整備により、学校評価による学校満足度の向上をめざすとともに、青少年の健全育成のため、放課後子ども教室の拡充支援による居場所づくりや各種教育事業の展開など、青少年の自立と共生・参画できる環境や仕組みづくりを推進します。				

基本的方向(1)結婚・出産・子育ての切れ目のない支援

具体的な施策① 結婚・出産に対する支援

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
妊婦個別指導実施率	94.0% (R2.3.31)	92.6% (R3.3.31)	87.5% (R4.3.31)	78.5% (R5.3.31)	90.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	妊婦個別指導については、妊娠中支援や指導の必要な妊婦に対して電話がつかず、なかなかケースが多くあり、令和3年度及び4年度は目標値に至りませんでした。支援が難しかった方に対しては、新生児訪問においてフォローをしていますが、母子健康手帳発行時等に妊婦本人が指導の必要性を認識できるようなアプローチが必要です。				
今後の方針	伴走型相談支援の実施により、妊娠中からの切れ目のない支援を強化し、妊娠8ヶ月頃のアンケートや面接を通じ、支援を必要とする妊婦に対し必要な支援が行えるように取り組みます。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
この地域で子育てしたいと思う人の割合	94.2% (R2.3.31)	94.2% (R3.3.31)	93.6% (R4.3.31)	92.6% (R5.3.31)	95.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	産前産後・家事育児サポート事業や産婦健康診査を開始するなど、新たな子育て支援サービスを導入することで、妊娠・出産・育児しやすい環境づくりに取り組みましたが、目標値を達成することはできませんでした。				
今後の方針	子育てアプリを導入し、乳児の月齢に応じた子育てに関するサービスや情報をプッシュ通知するなど、更に保護者が妊娠・出産・育児しやすい環境の整備に取り組みます。				

具体的な施策② 子育て支援の充実

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
保育園の待機児童数	62人 (R2.4.1)	90人 (R3.4.1)	6人 (R4.4.1)	8人 (R5.4.1)	0人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	保育施設の新規創設や改築等により受入児童数の増加を図り、待機児童対策に取り組んでいますが、保育士が不足する中、入園希望者は年々増加しており、待機児童の解消には至っていません。				
今後の方針	保育士の処遇改善のための給与の上乗せ、ICT導入の推進による保育士の業務負担の軽減及び保育士資格の取得をめざす学生に対して修学資金の貸付を行うことで保育士を確保するとともに、民間保育施設の整備を支援し、施設整備を促すことで待機児童数の改善に取り組みます。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
放課後児童クラブ数【累計】	48施設 (R2.3.31)	51施設 (R3.3.31)	51施設 (R4.3.31)	51施設 (R5.3.31)	55施設
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	共働き世帯の増加等に伴い、放課後児童クラブのニーズが増加している状況において、新たな施設の開設もありましたが、閉鎖した施設もあるため、目標値には至っていません。 なお、現状では待機児童は発生していません。				
今後の方針	研修の受講案内を周知することで職員のスキルアップにつなげ、保育の質の向上を図ります。 また、放課後児童クラブのニーズを把握しつつ、運営に係る補助を行うことで児童の育成の場の確保に取り組みます。				

基本的方向(2)働きながら産み育てやすい環境づくり

具体的な施策① ワーク・ライフ・バランスの促進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
ワーク・ライフ・バランスの促進のためのセミナー参加者数	157人 (R2.3.31)	40人 (R3.3.31)	89人 (R4.3.31)	206人 (R5.3.31)	210人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	オーガニックシティ推進課と連携し、職員向けに男女共同参画のセミナーを開催しました。令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で参加人数が少なくなりましたが、令和4年度は目標値に近い人数の参加者となりました。				
今後の方針	地域共生推進課と連携し、セミナーの開催を通じて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図ります。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
市役所男性職員の育児休暇取得率	11.5% (R2.3.31)	17.4% (R3.3.31)	17.4% (R4.3.31)	37.9% (R5.3.31)	25.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	男性職員の育児休暇の取得が広がり、取得しやすい環境になりました。また、令和4年10月にパパが子どもの出生後8週間以内に4週間育休を取得することができる「産後パパ育休制度(出生時育児休業)」を創設したことにより、さらに育児休暇の取得がしやすくなりました。				
今後の方針	男性職員が育児休暇を取得しやすい環境づくりに取り組むとともに、制度の周知により、更なる育児休暇の取得率の向上に取り組めます。				

具体的な施策② 子育て世代の経済的自立支援

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
若年者を対象とした就労支援セミナー参加者数	5人 (R2.3.31)	6人 (R3.3.31)	5人 (R4.3.31)	4人 (R5.3.31)	20人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	ジョブカフェちば・4市共催で、若年者を対象とした就労支援のため、求人情報の収集方法・応募書類の書き方・面接対策のセミナーを実施しましたが、若者の就職状況の好転や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、参加者数は目標値を大幅に下回りました。一方で、セミナーとは別に、就職するまでの生活・就労に関する個別相談会形式での相談対応などの就労支援に取り組みました。				
今後の方針	参加者数の増加に向けて、セミナーの内容の強化や周知方法を見直しながら、今後もジョブカフェちば・4市で協力してセミナーを実施します。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
子育て中の方を対象とした就労支援セミナー参加者数	27人 (R2.3.31)	0人 (R3.3.31)	14人 (R4.3.31)	23人 (R5.3.31)	30人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	各年度(2年度未実施)ともにパソコン(Excel及びWord)の初心者向け講座や、地元企業のお仕事説明会を実施しました。終了後のアンケートでは、参加者から好評であり、一定の参加者を集めることができたことから、ニーズに即したセミナーを開催することができました。				
今後の方針	セミナーの内容については大きく変更せず、子育て中の方が参加しやすい時間帯にセミナーを実施するなど、参加者の増加に向けて適宜開催方法の見直し等を行います。				

基本的方向(3)「木更津っ子」を育む教育の充実

具体的な施策①「木更津っ子」を育む教育の充実

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
英語検定3級以上の受験率	34.18% (R2.3.31)	31.15% (R3.3.31)	35.6% (R4.3.31)	27.40% (R5.3.31) ※英検3級のみ	40.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	学力の育成と学習意欲向上のため英語検定受験料の補助を行った結果、補助対象見直し以前の令和3年度までにおいて、受験率が高まりました。				
今後の方針	より多くの生徒に中学校卒業程度のレベルとされている3級を受験してもらうため、受験申込期間に案内を配付するなど、さらに本制度の幅広い周知に取り組みます。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
木更津市教職員のICT活用指導力	79.1% (H30年度)	79.6% (R3.3.31)	82.7% (R4.3.31)	92.3% (R5.3.31)	85.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	各学校において、校内の情報化を進めるリーダー等で構成された情報化推進チームを中心として、ICT活用についての研究や実践が進み、目標値を大きく超える結果となりました。				
今後の方針	ICT支援員やプログラミング連携協定先の外部人材を活用した研修の実施などにより、すべての教職員がICTを活用した授業を実践できるようにします。				

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標2 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる					
数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
「らづ-Biz」の支援を受けて新規創業した件数	21件 (R2.3.31)	8件 (R3.3.31)	7件 (R4.3.31)	15件 (R5.3.31)	25件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	第2期総合戦略においては、活力あふれる地域経済の活性化に向けて、5つの基本方向を設定し、取組を進めてまいりました。 農林水産業の成長産業化への支援として、道の駅「木更津 うまきたの里」における地元の農林水産物の購入・消費機会の提供、イベントにおける農林水産物のPRや学校給食への有機米の提供による食育の推進に取り組みました。 産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援として、「らづ-Biz」による市内中小企業の資金繰り支援や創業をめざす方への支援を行うとともに、開業・育成資金の利用を促進しました。また、電子地域通貨「アクアコイン」のポイント還元事業や加盟店間取引の簡素化などの普及促進により、市内における消費喚起や資金の域内循環を促進するなど、市内の産業の活性化に取り組みました。 企業誘致の促進として、「かずさアカデミアパーク」及び「金田西地区」を拠点として、製造業や物流業、小売業など多様な業種の企業を誘致しました。 観光産業の競争力強化として、観光地域づくり法人「きさらづDMO」と連携して、ポストコロナに対応したツアーの造成による旅行受入者数の増加を図りました。 安定した雇用の確保として、中高年・シニア向け就労支援セミナーを開催し、地元企業と求職者のマッチングを図りました。 施策の結果として、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、進捗が遅れている取組がみられますが、市内における「らづ-Biz」の支援を受けて新規創業した件数は回復傾向にあり、地域経済の活性化に一定の効果が出ていると考えます。 一方で、観光や就労支援の分野において、観光需要の変化や新しい働き方・暮らし方の普及を踏まえたポストコロナに対応した取組が求められています。				
今後の方針	第2期総合戦略で根付いた取組の継続性を重視し、多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させるため、活力あふれる持続可能な地域経済の好循環の確立に向けた取組を推進してまいります。 農林水産業の成長産業化への支援として、新規就業の促進を図り、農産物については、道の駅「木更津 うまきたの里」を拠点とする地元農産物の販売を促進します。また、環境にやさしい有機農業を推進し、学校給食への有機米の提供や有機農産物の生産拡大に取り組みます。水産物については、ブランド化に向けた取組を行うとともに、潮干狩りなどの観光漁業の推進に取り組みます。 産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援として、「らづ-Biz」を拠点とした事業者支援を行うとともに、「アクアコイン」の更なる普及による地域経済の循環を高めます。 観光産業の競争力強化として、「きさらづDMO」と連携し、本市の魅力に磨きをかけ、「新しい日常」の視点を取り入れた、人を呼び込む観光コンテンツの充実を図ります。				

基本的方向(1)農林水産業の成長産業化への支援

具体的な施策① 有機農業や地産地消の促進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
学校給食における有機米の提供割合	2.4% (R2.3.31)	11.8% (R3.3.31)	38.2% (R4.3.31)	53% (R5.3.31)	43.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	市内小中学校給食への有機米の提供割合の向上に向けて、市内14名の生産者の協力を得て、有機米の生産を促進するとともに、有機米生産者と学校の給食試食会を実施するなど顔の見える学校給食の提供に努め、令和4年度においては、有機米を全小中学校へ計71日間提供しました。これらの取組により、学校と生産者のつながりや地域食材に親しむ食育の啓発となったことが、食育アンケートの結果から得られました。				
今後の方針	生産者とのつながりや地域食材に親しむ観点から、学校給食で有機米を提供することで学校における食育の充実が図れるため、学校給食の有機米提供100%をめざします。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
道の駅「木更津 うまくたの里」における市内農林水産物取扱高	13,800万円 (R2.3.31)	16,600万円 (R3.3.31)	18,600万円 (R4.3.31)	22,800万円 (R5. 3. 31)	20,000万円
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けたものの、メディアを活用した広報によるPR等を行い、市内農林水産物取扱高については年々増加し、目標値を達成することができました。				
今後の方針	利用者のニーズに応じた商品の品揃えの強化と、利用者の利便性向上と生産者の安定した出荷先としての役割を果たすため、施設の拡張を検討します。				

具体的な施策② 食育の推進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
学校給食に提供する千葉県産食材の使用割合	39.3% (R2.3.31)	37.8% (R3.3.31)	43.5% (R4.3.31)	38.1% (R5.3.31)	45.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	生産部局と栄養士の横のつながりを深めることで、近隣市及び千葉県産食材の学校給食への優先的な使用に取り組むとともに、給食だより等で生産者の情報を発信したことで、食育の推進につながりました。				
今後の方針	地域で生産された食材を優先的に使用することで、学校における食育の充実が図れるため、生産者の顔の見える地産地消給食に取り組みます。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
学校給食における有機米の提供割合【再掲】	2.4% (R2.3.31)	11.8% (R3.3.31)	38.2% (R4.3.31)	53% (R5.3.31)	43.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	市内小中学校給食への有機米の提供割合の向上に向けて、市内14名の生産者の協力を得て、有機米の生産を促進するとともに、有機米生産者と学校の給食試食会を実施するなど顔の見える学校給食の提供に努め、令和4年度においては、有機米を全小中学校へ計71日間提供しました。これらの取組により、学校と生産者のつながりや地域食材に親しむ食育の啓発となったことが、食育アンケートの結果から得られました。				
今後の方針	生産者とのつながりや地域食材に親しむ観点から、学校給食で有機米を提供することで学校における食育の充実が図れるため、学校給食の有機米提供100%をめざします。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
「食」と「第一次産業」をテーマにしたイベントの参加者数	24,700人 (R2.3.31)	6,565人 (R3.3.31)	7,626人 (R4.3.31)	20,032人 (R5.3.31)	28,500人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるイベントの開催制限等の影響を受けましたが、制限の緩和やSNSを使用した広報等により、令和4年度は前年度の2倍以上の参加者が見られました。感染症の影響を大きく受けた令和2年度以降参加者数は年々増加しています。				
今後の方針	本市の農業や農産物のPRを図るため、関係機関と連携したイベントを開催し、併せて積極的にPRを行うことで、参加者の更なる増加をめざします。				

具体的な施策③ 新規就農の促進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
認定新規就農者数	5人 (R2.3.31)	7人 (R3.3.31)	9人 (R4.3.31)	10人 (R5.3.31)	10人 (R2～R4累計)
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	令和4年度は、農業関係機関と連携を図り、就農や農地確保への相談にきめ細かに対応した結果、新たに1人の認定新規就農者が認定されました。認定新規就農者数は毎年増加し、目標値を達成することができました。				
今後の方針	農業関係機関と連携を図り、就農や農地確保への相談体制の充実を図るとともに、就農に向けた総合的な支援体制を構築し、担い手育成に取り組みます。				

具体的な施策④ 有害鳥獣対策の強化

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
農作物被害額	2,264万円 (R2.3.31)	2,061万円 (R3.3.31)	1,850万円 (R4.3.31)	—	1,600万円
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	有害鳥獣による農作物被害対策として、捕獲による駆除対策や防護柵の設置への支援に取り組んでおり、農作物被害額は年々減少しています。				
今後の方針	有害鳥獣による農作物被害対策に加え、新たな捕獲従事者の育成、支援に取り組むとともに、獣肉処理加工施設による食肉への有効活用等に取り組めます。				

具体的な施策⑤ 農林水産業の六次産業化・ブランド化に対する支援

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
新規販路開拓生産者数	0事業者 (R2.3.31)	4事業者 (R3.3.31)	3事業者 (R4.3.31)	4事業者 (R5.3.31)	5事業者
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	令和2年度に開催したFOODEX JAPANへの木更津市ブース出展により市内農産物の販路開拓を推進しました。また、本市の交流拠点施設である道の駅「木更津 うまくたの里」と連携し、毎年、市内生産者等と新規出荷契約が締結されており、新たな販路を拡大しております。				
今後の方針	生産者や関係機関・団体等と連携し、木更津市農林水産物のブランド化や販路拡大に向けた取組を支援します。				

具体的な施策⑥ 水産業の持続的発展に向けた支援

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
アサリの年間生産量	70t (R2.3.31)	7.45t (R3.3.31)	140.64t (R4.3.31)	56.07t (R5.3.31)	140t
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	漁業関係機関との連携を図り、地場のアサリを保護・育成するための囲い網・被覆網による食害防止対策やスズカモの駆除対策等の漁場管理を行った結果、生産量が増加するなど一定の成果がありました。				
今後の方針	生産量の増加へ向け漁業関係機関との連携を図り、アサリの食害対策や稚貝保護等の漁場管理や、干潟漁場の環境と生態系の保全活動の支援に取り組みます。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
潮干狩り入場者数	189千人 (R2.3.31)	32千人 (R3.3.31)	98千人 (R4.3.31)	152千人 (R5.3.31)	250千人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	潮干狩り入場者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度から3年度にかけて大幅に減少しましたが、潮干狩り場が臨時休業する中、市内観光施設等へのチラシ設置やポスターの掲出、週末木更津計画を活用した情報発信等のPR活動を実施したことで、感染症の制限緩和により、令和4年度から回復傾向にあります。				
今後の方針	大型商業施設・海ほたるパーキングエリア等の観光スポットとの連携による周知活動や千葉県主催のPRイベントの活用等を推進するなど、効果的な情報発信を図ります。				

基本的方向(2)産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援

具体的な施策① 産業・創業に対する包括的支援

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
「らづ-Biz」の支援を受けて新規創業した件数【再掲】	21件 (R2.3.31)	8件 (R3.3.31)	7件 (R4.3.31)	15件 (R5.3.31)	25件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新規創業者数(開業届提出事業者)は目標値を下回っておりますが、既存事業者の新店舗開店や本市への新規出店、副業開始などの支援を行うことができ、地域経済の活性化に貢献しました。				
今後の方針	「らづ-Biz」が主催した創業塾の参加者は増加傾向にあり、創業をめざす方からの需要は高くなっていることから、今後も創業支援に取り組み、地域経済の活性化を図ります。				

具体的な施策② 中小企業等の持続的成長に対する支援

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
中小企業資金融資の一般事業 資金新規利用件数	101件 (R2.3.31)	75件 (R3.3.31)	121件 (R4.3.31)	114件 (R5.2.28)	150件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対する国の無利子・無担保の融資制度により利用件数が減少しましたが、低金利に加え、利子相当分の利子補給金を受けられる当該融資制度は多く活用されており、事業者の負担軽減に貢献しました。				
今後の方針	事業者の事業継続の効果的な資金支援を行うため、中小企業資金融資制度の運用率も高いことから、今後も継続して実施します。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
中小企業資金融資の開業・育成 資金新規利用件数	4件 (R2.3.31)	0件 (R3.3.31)	3件 (R4.3.31)	1件 (R5.2.28)	5件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて創業を控える方が多く、利用件数は、目標を達成することができませんでした。				
今後の方針	産業・創業支援センター(らづ-Biz)と連携し、創業をめざす方への伴走支援を行うとともに、その支援の一つとして、開業・育成資金の利用を促進します。				

具体的な施策③ 電子地域通貨「アクアコイン」を活用した地域経済活性化の推進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
電子地域通貨「アクアコイン」の加盟店数【平成30年度からの累計】	565店 (R2.3.31)	663店 (R3.3.31)	750店 (R4.3.31)	833店 (R5.3.31)	1,500店
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、積極的な加盟店営業活動が実施できなかったため、目標値の達成には至りませんでした。利用者向け還元キャンペーンや加盟店支払還元キャンペーンを効果的に実施した結果、加盟店数の増加につながりました。				
今後の方針	新たに作成した加盟店募集チラシを効果的に活用するほか、利用者向けアンケートでリクエストの多かった未加盟店を中心に効率的かつ効果的な営業活動を行います。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
電子地域通貨「アクアコイン」の利用金額	1億9,590万円 (R2.1.31)	2億7,196万円 (R3.3.31)	3億1,609万円 (R4.3.31)	4億8,635万円 (R5.3.31)	13億2,000万円
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	令和3年度から、民間企業からの寄附金を活用したポイント高還元率キャンペーンや20%還元事業などを効果的に実施したことで、目標値は達成できませんでしたが、アクアコインの利用金額は増加傾向となっており、地域経済の活性化に貢献しました。				
今後の方針	定期的な高還元率キャンペーンの実現に向けて、企業版ふるさと納税による寄付金募集を積極的に行うとともに、令和5年度に運用を開始する口座チャージ機能の効果的なPRにより利用額の更なる増加を図ります。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
加盟店間取引コイン数	1,335万コイン (R2.1.31)	594万コイン (R3.3.31)	1,174万コイン (R4.3.31)	2,425万コイン (R5.3.31)	4,000万コイン
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	令和4年10月に運用が開始した「加盟店アプリ」により加盟店間取引の利用方法が簡素化されたことや、同時期に行った加盟店間取引時の還元キャンペーンの実施により、令和4年度の実績が大きく伸びたことで地域経済の活性化に貢献しました。				
今後の方針	「加盟店アプリ」の普及に向けて効果的な周知を行うことで、加盟店間取引額の更なる増加を図ります。				

基本的方向(3)企業誘致の促進

具体的な施策① 立地特性を活かした産業集積・企業誘致の推進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
企業の立地決定件数(増設を含む)【平成20年度からの累計】	37件 (R2.3.31)	40件 (R3.3.31)	43件 (R4.3.31)	44件 (R5.3.31)	50件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	本市における企業誘致拠点として「かずさアカデミアパーク」、「金田西地区」、「インターチェンジ周辺地区」の3つを掲げ、企業誘致に取り組んだ結果、主に「かずさアカデミアパーク」には製造業が、「金田地区」には物流業や小売業など多様な業種の企業が進出しました。				
今後の方針	「木更津市企業誘致方針」に基づき、立地奨励金を活用した企業誘致に取り組むとともに、新たな産業用地の創出に取り組みます。				

基本的方向(4)観光産業の競争力強化

具体的な施策① 地域資源を活かした観光振興

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
観光おもてなしセミナー参加団体数	24団体 (R2.3.31)	0団体 (R3.3.31)	0団体 (R4.3.31)	0団体 (R5.3.31)	50団体
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	令和元年度までは積極的にセミナーを開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催を中止しました。				
今後の方針	新型コロナウイルス感染症による規制が徐々に緩和されつつある中で、国や県が積極的に開催しているおもてなしセミナー等について観光関連事業者へ情報共有を行います。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
着地型観光商品の開発による旅行受入者数	1,247人 (R2.3.31)	235人 (R3.3.31)	884人 (R4.3.31)	2,673人 (R5.3.31)	1,500人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	きさらづDMOや地域の関連事業者と連携してウィズコロナ・ポストコロナに対応したツアー商品の造成・販売を行うことで旅行受入者数を増やすことができました。				
今後の方針	きさらづDMOや地域の関連事業者と連携し、本市の里海・里山を活用したツアー商品の造成・販売を行うとともに、販売促進に向けて様々な広報媒体を活用し効果的な情報発信を行います。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
大型クルーズ船の入港数	1隻 (R2.3.31)	0隻 (R3.3.31)	0隻 (R4.3.31)	1隻 (R5.3.31)	6隻
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、クルーズ運航に大きな影響がありましたが、感染症の制限緩和により、クルーズ船の入港を実現し、観光振興に貢献しました。				
今後の方針	国内外のクルーズ船会社への継続的な誘致活動を続けるとともに、木更津港の認知度向上のため情報発信を実施します。				

基本的方向(5)安定した雇用の確保

具体的な施策① 地元企業と求職者のマッチング支援

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
中高年・シニア向け就労支援セミナー参加者数	13人 (R2.3.31)	67人 (R3.3.31)	44人 (R4.3.31)	32人 (R5.3.31)	50人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	千葉県ジョブサポートセンターと4市共催で、中高年・シニア向け就労支援のため、高齢者の求人情報の収集方法・応募書類の書き方・面接対策などのセミナーを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、セミナーを開催した回数が少なくなってしまったため、目標値を達成できたのは令和2年度のみでした。				
今後の方針	市公式ホームページ等を活用した情報発信による周知に取り組むとともに、ニーズに即した充実を図り、セミナーを数多く開催することで参加者の増加をめざします。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
地元企業合同説明会参加者数	68人 (R2.3.31)	0人 (R3.3.31)	0人 (R4.3.31)	0人 (R5.3.31)	100人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年度から実施を中止しました。				
今後の方針	市内企業と連携のもと、合同就職説明会を開催し、企業と求職者ニーズのマッチングに取り組むとともに、リモートワークなど、新しい働き方・暮らし方が普及していることから、これまで行っていた単一的な就職から移住・定住をめざした説明会に限らず、新しい働き方・暮らし方が叶う街として広くPRするイベント等に取り組めます。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
地元企業合同説明会を通じて就職した人数	10人 (R2.3.31)	0人 (R3.3.31)	0人 (R4.3.31)	0人 (R5.3.31)	20人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年度から実施を中止しました。				
今後の方針	市内企業と連携のもと、合同就職説明会を開催し、企業と求職者ニーズのマッチングに取り組むとともに、リモートワークなど、新しい働き方・暮らし方が普及していることから、これまで行っていた単一的な就職から移住・定住をめざした説明会に限らず、新しい働き方・暮らし方が叶う街として広くPRするイベント等に取り組めます。				

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標3 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する					
数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
人口の社会増(転入者数－転出者数)	621人 (R2.3.31)	740人 (R3.3.31)	725人 (R4.3.31)	1,134人 (R5.3.31)	1,050人
大規模集客施設を除く年間観光入込客数	1,353千人 (R2.3.31)	856千人 (R3.3.31)	1,022千人 (R4.3.31)	1,494千人 (R5.3.31)	1,100千人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	第2期総合戦略においては、活力あるまちづくりの推進に向けて、5つの基本方向を設定し、取組を進めてまいりました。 多様なライフスタイルがかなう定住の促進として、木更津市街なか居住マンション建設補助事業を実施し、木更津駅周辺の土地の高度化・共同化による市街地の環境整備に取り組むとともに、空家の利活用を推進し、本市への移住・定住者の増加を図りました。 快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成として、街なか居住の推進のため、マンション建設補助・取得助成事業の実施に取り組むとともに、高速バスターミナルの乗り入れ路線数の増加や市道6431号線の道路拡幅工事を実施するなど、交通ネットワークの強化に取り組みしました。 木更津の様々な魅力の情報発信の強化として、出前授業による「オーガニックなまちづくり」の認知度向上など地域ブランドの醸成に取り組みながら、SNSを活用した効果的な木更津市の情報発信を行いました。 アクアライン等を活かした交流人口の創出として、WEBサイト(木更津おでかけナビ)の運用を新たに開始するなど、観光情報の効果的な発信に取り組みしました。また、オンラインでの国際交流事業の実施など、姉妹・友好都市等との継続的な交流に取り組みしました。 多様な地域資源を活かした関係人口の創出として、道の駅「木更津 うまくだの里」における収穫体験の実施など、都市と農村の交流促進を目的とした農泊の推進に取り組みしました。 施策の結果として、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、進捗が遅れている取組がみられますが、市内における人口の社会増及び年間観光客入込客数は、数値目標を達成しており、定住・交流人口の増加に向けた各取組の効果が出ていると考えます。 一方で、観光の分野において、これまで実施してきたイベント等が開催できていない状況があり、ポストコロナに対応した取組が求められています。				
今後の方針	第2期総合戦略で根付いた取組の継続性を重視し、アクアラインによる地理的優位性や豊かな里山・里海の地域資源を活かし、多様なライフスタイルを実現できるまちとして、市内外の交流の機会を充実させ、関係人口の創出・拡大を図ります。 多様なライフスタイルがかなう定住の促進として、住宅の建設や購入の支援、空家の活用などによる定住を促進するとともに、市役所庁舎などの公共施設を整備することで、歩いて暮らせるまちづくりを推進し、更なる都市機能の立地を図ります。 木更津の様々な魅力の情報発信の強化として、民間企業とも連携し、木更津ブランドを意識した情報発信を行うなど、定住・交流人口の増加や産業・観光の振興を促進し、市の魅力を更に高める好循環の創出をめざします。				

基本的方向(1)多様なライフスタイルがかなう定住の促進

具体的な施策① 街なか・農村漁村への定住促進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
木更津駅周辺において、土地利用の共同化・高度化がなされた面積【令和元年度からの累計】	未実施 (R2.3.31)	0.4ha (R3.3.31)	0.5ha (R4.3.31)	0.5ha (R5.3.31)	0.5ha
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	市街地の環境整備のため、木更津市街なか居住マンション建設補助事業を実施した結果、JR木更津駅周辺(0.5ha)において、土地利用の共同化・高度化をすることができました。				
今後の方針	木更津駅周辺の市街地環境の整備改善や良好な住宅供給を進めることで、便利で活力ある市街地の実現と定住の促進を図ります。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
空家バンクを通じた空家の利活用した件数【平成30年度からの累計】	7戸 (R2.3.31)	12戸 (R3.3.31)	12戸 (R4.3.31)	13戸 (R5.3.31)	40戸
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	空家の利活用の活性化に向けて、出前講座の実施やJR東京駅におけるデジタルサイネージの活用により空家バンク制度の周知を行った結果、13戸の利活用が図られましたが、目標には至っていません。				
今後の方針	空家への理解が得られるよう継続して出前講座を実施するとともに、空家バンク制度にかかわる普及啓発活動により登録件数を増やし、空家の利活用を推進します。				

基本的方向(2)快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成

具体的な施策① みなとまち木更津の再生

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
中心市街地内の人口社会増【令和2年度からの累計】	8人 (R2.1.1)	235人 (R3.1.1)	242人 (R4.1.1)	335人 (R5.1.1)	162人 (R2～R4累計)
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	街なか居住の推進として、街なかマンション建設補助事業及び街なかマンション取得助成事業の実施により、中心市街地内にマンションが3棟竣工し、198戸が入居した結果、目標値を上回る人口増となりました。				
今後の方針	新たに中心市街地内にマンション建設(令和6年度末完成予定)が予定されているため、人口増加が見込まれます。継続して、街なか居住の推進に取り組みます。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
「木更津バル」のチケット売上金額	432千円 (R2.3.31)	765千円 (R3.3.31)	—	—	2,000千円
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	令和2年度まで開催しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和3年度から開催を中止しました。				
今後の方針	「安心・安全・無添加」食材を使用し、オーガニックや環境に配慮した木更津ナチュラルバルの開催等により、恒常的な集客に取り組むことで、街なかの賑わい創出を図ります。				

具体的な施策② 交通ネットワークの強化

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
木更津金田バスターミナル(チバスタアクア金田)の高速バス乗入れ路線数【平成25年度からの累計】	11路線 (R2.3.31)	11路線 (R3.3.31)	12路線 (R4.3.31)	12路線 (R5.3.31)	15路線
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	関西方面への夜行バスが、バスターミナルへの乗り入れ路線に加わり、既存路線の観光施設への停留所の追加などがありました。新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少やアクアラインの渋滞により、一部の路線において計画運休が続いています。				
今後の方針	関係機関と連携し、周辺の交通渋滞の緩和に向けて取り組むことにより、更なる高速バス乗入れ路線数の増加をめざすとともに、利便性向上のため、高速バスネットワークの拠点施設としての機能強化を進めます。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
道路整備率(下郡大稲線、中野畑沢線(桜井工区)、市道6431号線)	25.7% (R2.3.31)	36.7% (R3.3.31)	37.7% (R4.3.31)	49.0% (R5.3.31)	61.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	下郡大稲線については、道路詳細設計及び橋りょう詳細設計を実施しました。中野畑沢線(桜井工区)については、一部用地取得を実施しました。市道6431号線(笹子地区)については、道路拡幅工事が完了しました。以上から、各路線の整備率は向上したものの、目標は達成することができませんでした。				
今後の方針	中野畑沢線(桜井工区)については、引き続き用地取得の進捗を図りながら、一部工事に着手し、下郡大稲線については、設計業務を進めることで計画路線の整備促進を図ります。				

基本的方向(3)木更津の様々な魅力の情報発信の強化

具体的な施策① 地域ブランドの構築

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
オーガニックなまちづくりの認知度	45.2% (H30年度)	50.5% (R3.3.31)	58.0% (R4.3.31)	-	80.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	認知度向上を図るため、出前授業等の対面による普及・啓発に加え、Facebook(フォロワー数644人)、LINE(友だち数3,143人)やInstagram(フォロワー数1,280人)などの各SNS、「オーガニックシティ木更津」ホームページ等の活用及びオーガニックシティフェスティバルにおける周知により、様々な年齢層に向けて情報発信を行った結果、認知度向上につながりました。				
今後の方針	市民意識調査の結果から若年層への認知度が低いことから、子育て世代をターゲットにしたセミナーや情報発信を継続して実施することで、認知度向上を図ります。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
オーガニックアクション宣言企業認定数【平成30年度からの累計】	52件 (R2.3.31)	61件 (R3.3.31)	73件 (R4.3.31)	81件 (R5.3.31)	80件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	オーガニックアクション宣言企業の取組事例の「オーガニックシティ木更津」ホームページ等への掲載や、認定証交付式等の開催により、オーガニックなまちづくりに取り組む企業が増え、目標達成につながりました。				
今後の方針	オーガニックアクション宣言企業は順調に増加してきていることから、今後については、宣言企業同士の交流や県・市と連携した事業の実施等を検討し、公民連携を一層推進した事業の構築をめざします。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
景観形成重点地区の指定件数	未指定 (R2.3.31)	未指定 (R3.3.31)	1件 (R4.3.31)	1件 (R5.3.31)	1件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	富士見通りの再整備と無電柱化を進めるパークベiproジェクトと連携し、良好な景観形成を推進するため、富士見通り沿道を「木更津駅みなと口景観形成重点地区」として指定し、良好な景観形成に資する事業を実施する取組を支援し、地域の良好な景観まちづくりに取り組みました。				
今後の方針	富士見通りについては、パークベiproジェクトと連携を図り、重点地区支援事業補助金を活用しながら、地域住民の方々との協働により良好な景観形成を推進します。特に市の玄関口として相応しいデザインとなるよう緑化推進などに配慮した景観形成を進めます。 富士見通りの整備等が進み先導的な景観形成がされた際は、他地区についても同様に地域特性に応じた景観形成を推進します。				

具体的な施策② 魅力発信力の強化

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
行政情報番組「オーガニックシティきさらづ」のYoutube平均視聴回数	333回 (R2.3.31)	834回 (R3.3.31)	648回 (R4.3.31)	676回 (R5.3.31)	900回
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	本市の魅力を発信するため、民間事業者に委託し番組を制作した結果、様々な方面から木更津の魅力を伝えることができる番組となりました。				
今後の方針	平均視聴回数は目標値に届かなかったものの、番組の放送内容によっては視聴回数が1,000回を超えることもあるため、視聴者のニーズに合った放送内容を精査し、平均視聴回数の増加を図ります。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
Facebook各投稿の平均リーチ数	3,161リーチ (R2.3.31)	2,321リーチ (R3.3.31)	1,720リーチ (R4.3.31)	1,596リーチ (R5.3.31)	3,700リーチ
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	Facebookを通じてより多くの方に情報が届くようにするため、各課に情報発信担当者を選出し、積極的に情報発信をするよう推奨しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の減少に伴い、リーチ数が減少しました。				
今後の方針	今後は各部にシティプロモーション課の職員をプロモーションサポート担当として配置することで、情報の一元化を図り、情報の受け手側により伝わりやすく、ニーズに即した情報発信を行うことで、各投稿のリーチ数を伸ばします。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
らぶナビダウンロード数【平成30年度からの累計】	10,478件 (R2.1.31)	16,596件 (R3.3.31)	23,304件 (R4.3.31)	27,686件 (R5.3.31)	25,000件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	多くの方の目に留まるデジタルサイネージを広報として活用するなど、幅広くらぶナビの周知を図り、目標値を上回る登録者数を得ることができました。				
今後の方針	らぶナビについては、市公式ホームページの再構築に伴い、LINEの市公式アカウントを運用していくことから、同媒体に移行します。 今後は、LINEを活用し、より多くの方に最適な情報を提供することで情報発信力の強化を図ります。				

基本的方向(4)アクアライン等を活かした交流人口の創出

具体的な施策① 観光客の回遊性向上

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
観光パンフレット掲載のクーポン利用率	8.4% (R2.3.31)	5.5% (R3.3.31)	—	1% (R5.3.31)	10.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	従来発行していた「週末木更津計画」パンフレットは新型コロナウイルス感染症の影響で利用が減ったため、スマートフォン等で見る事ができる「木更津おでかけナビWEBサイト」の運用を令和4年9月から開始しました。そのため、観光情報のタイムリーかつ効果的な発信が可能となり、利便性の向上につながりました。				
今後の方針	WEBサイトの利用促進に向け市公式ホームページやSNSを活用した情報発信を行うとともに、クーポン利用可能店舗を増加し、利用率の向上を図ります。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
観光入込客数	1,914万人 (R2.3.31)	1,513万人 (R3.3.31)	1,476万人 (R4.3.31)	1,579万人 (R5.3.31)	2,100万人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベントの縮小や中止が相次ぎ、本市に訪れる観光客数は大幅に減少しています。また、観光客の多くは金田地域の観光施設に訪れており、市内周遊につながっていない状況です。				
今後の方針	きさらづDMOや民間企業と連携し、中心市街地や里山・里海への観光に足を運ぶような商品の造成・販売、情報発信を行うとともに、SNSを活用した積極的な情報発信等を通じて、観光客の市内への回遊を促進し、経済効果を地域全体に波及させるよう取り組みます。				

具体的な施策② 外国人観光客の誘致

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
外国人観光客宿泊者数	71,662人 (R2.3.31)	8,461人 (R3.3.31)	2,235人 (R4.3.31)	7,608人 (R5.3.31)	85,000人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度及び令和3年度は外国人観光客が大幅に減少しました。外国人の入国制限がある中において、ポストコロナを見据え、日本語を含め8か国語対応のWEBサイトを作成するなど、受入体制の整備を行いました。				
今後の方針	インバウンド需要が高まっている中において、きさらづDMOや民間企業と連携し、高付加価値の観光商品の開発や観光PRを行っていきます。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
国際会議の開催件数【令和2年度からの累計】	2件 (R2.3.31)	0件 (R3.3.31)	0件 (R4.3.31)	1件 (R5.3.31)	5件 (R2～R4累計)
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定されていた国際会議の中止や延期が相次ぎ、目標値の達成には至りませんでした。ちば国際コンベンションビューローと連携して新たにPR動画・冊子を作成し誘致活動を実施したことにより、人数調整をしながらも国際会議を開催することができました。				
今後の方針	ちば国際コンベンションビューローやMICE施設と協力し、効果的な情報発信を行うことで国際会議の誘致を行います。				

具体的な施策③ 国際交流・国際理解の推進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
国際交流事業の実施件数	171件 (R2.3.31)	72件 (R3.3.31)	90件 (R4.3.31)	177件 (R5.3.31)	250件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで実施していた姉妹・友好都市等との交流や国際交流協会の多くの事業が中止を余儀なくされる中、オンラインを活用した事業にも取り組むことで継続的な交流につなげました。				
今後の方針	姉妹・友好都市等との交流を通じ、国際感覚豊かな人材を育むために国際交流協会と連携し、時代を担う子供たちなどを対象に、オンラインを活用した継続的な交流を図り、グローバル化に対応した幅広い視野と豊かな人間性を育みます。				

基本的方向(5)多様な地域資源を活かした関係人口の創出

具体的な施策① 都市と農村漁村の関わり方強化

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
都市と農村漁村の交流活性化を目的としたイベントの参加者数	906人 (R2.3.31)	0人 (R3.3.31)	223人 (R4.3.31)	475人 (R5.3.31)	1,500人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、人の移動や経済活動が大きく制限される中、都市と農村の交流促進を目的とした農泊の推進に向けて、道の駅「木更津 うまくたの里」に整備した体験農園において、市民活動団体が主催する野菜の収穫体験を実施しました。 ※農泊とは・・・ 農山漁村地域に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」をいい、地域資源を観光コンテンツとして活用し、インバウンドを含む国内外の観光客を農山漁村に呼び込み、地域の所得向上と活性化を図ります。				
今後の方針	ポストコロナの社会情勢を注視しつつ、道の駅「木更津 うまくたの里」を拠点として、農作物の収穫体験や道の駅の開業5周年を祝した収穫祭の開催など、本市の農業資源を活用した農泊(農山漁村滞在型旅行)を推進します。				

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標4 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する					
数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
地区まちづくり協議会設置割合	53% (R2.3.31)	73% (R3.3.31)	86.6% (R4.3.31)	86.6% (R5.3.31)	100%
自主防災組織活動力バー率	49.7% (R2.3.31)	50.9% (R3.3.31)	53.1% (R4.3.31)	52.72% (R5.3.31)	70.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	第2期総合戦略においては、市民力・経済力を高め、持続可能な自立するまちの構築に向けて、6つの基本方向を設定し、取組を進めてまいりました。 市民力・地域力による自立した地域づくりとして、オンラインでの市民活動を支援するため、オンライン会議システムを導入しました。地区まちづくり協議会が主体となった取組として、富来田地区において自家用有償旅客運送が開始しました。 生物多様性を育む自然との共生として、干潟クリーン作戦を実施し、盤洲干潟を含む自然環境の保全について啓発しました。 生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくりとして、一人ひとりが生涯を通じ健康で暮らせるよう特定健康診査を実施するとともに、栄養バランスの良い食生活を実践できるようリーフレットを用いた個別指導等を実施しました。 ふるさと木更津づくりとして、誇りや愛着心を育むため、市の歴史に係る公開講座の動画配信や、「木更津みなどぐちアートプロジェクト」により、歴史や文化、芸術に触れる機会の創出に取り組みしました。 安心で暮らしやすい防災都市づくりとして、市職員を交えた総合防災訓練を全地区で実施するなど、地域防災の体制充実を図りました。 多様な主体との連携推進として、大学や高専と連携したYoutube配信による市民公開講座の実施や、君津地域4市で構成している君津郡市広域市町村圏事務組合の共同処理事務の見直しなどに取り組みしました。 進捗が遅れている取組が見られますが、施策の結果として、目標値には至らないものの、地区まちづくり協議会の設置割合は8割を超えており、多様な主体と交流による地方自治の強化に向けた取組について一定の効果ができていると考えます。 一方で、自主防災組織数は増加しているものの、自主防災組織活動力バー率は5割にとどまっており、自助・共助意識の醸成に課題があります。				
今後の方針	第2期総合戦略で根付いた取組の継続性を重視し、これまでの基本方向に「DX推進による住みよいまちづくり」を加えた、7つの基本方向に基づいて、災害に強いまちづくりや支え合う地域社会の構築に取り組むとともに、誇りある「ふるさと木更津」の豊かな自然環境を守り、共生し、生涯にわたって活躍し、心身ともに健康で生き生きと暮らすことができる地域づくりを推進します。 安心で暮らしやすい防災都市づくりとして、自主防災組織の設置や既存組織の育成を図るとともに、防災事業を実施する地区まちづくり協議会の数の増加により、自主防災活動の活性化に取り組みします。 DX推進による住みよいまちづくりとして、デジタルデバイドの解消に向けた講座の開催や、ICTの利活用により、窓口等における市民サービスの拡大など、市民ニーズに迅速かつ的確に対応し、効率的な行政運営の向上を図ります。				

基本的方向(1)市民力・地域力による自立した地域づくり

具体的な施策① 協働によるまちづくりの推進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
市民活動支援センター会議室稼働率	43.5% (R2.3.31)	16% (R3.3.31)	23.2% (R4.3.31)	35.0% (R5.3.31)	55.2%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	市民活動の支援及び促進のため、市民活動支援センターにおいて各種事業に取り組んだ結果、登録団体が29団体増加しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、団体活動の停滞が生じていたため、オンライン会議システムを導入するなどの活動支援を行いました。				
今後の方針	市民活動支援センターにおいて、市民活動の支援及び普及を図っていくとともに、施設の機能充実も含め複合施設（仮称）市民交流プラザを整備し、市民活動の更なる推進を図ります。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
地区まちづくり協議会設置割合【再掲】	53% (R2.3.31)	73% (R3.3.31)	86.6% (R4.3.31)	86.6% (R5.3.31)	100%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	市内全地区での設立をめざし、未設立地区に対して、設立に向けた説明会や設立準備会等を開催した結果、令和2年度から令和4年度までに5地区でまちづくり協議会が設立されました。				
今後の方針	地域自治の推進・充実に向け、市内全地区での設立をめざし、未設立地区に対して設立に向けたアプローチを行います。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
まちづくり協議会・NPO法人等による新たな交通システムの導入件数【平成17年度からの累計】	1件 (R2.3.31)	2件 (R3.3.31)	2件 (R4.3.31)	2件 (R5.3.31)	4件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	富来田地区において、地区まちづくり協議会が主体となった自家用有償旅客運送が開始されています。令和4年度は鎌足地区において、新たな交通システム導入に向けた検討を行いましたが、導入にはいたっていません。				
今後の方針	富来田地区の自家用有償旅客運送の安定的な運行に向けた支援を行います。また、地域によって交通に関する課題が異なることから、地域住民や交通事業者等と協議を重ね、地域公共交通ネットワークの構築を図ります。				

基本的方向(2)生物多様性を育む自然との共生

具体的な施策① 自然環境や里山・里海の保全

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
里山の保全・活用に関する取組を市が支援した件数	1件 (R2.3.31)	1件 (R3.3.31)	1件 (R4.3.31)	2件 (R5.3.31)	3件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	里山再生のため、里山の保全活動や竹林整備に取り組む、地域住民等で組織する活動組織に対して、里山林の整備や森林の自然観察などの活動を支援しました。				
今後の方針	森林事業が行われていない里山では荒廃が進んでいるため、千葉県と連携しながら、里山整備を進める取組(里山林の整備や保全、教育・研修活動などの支援)を推進します。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
干潟クリーン作戦の参加人数	222人 (R2.3.31)	実施なし (R3.3.31)	700人 (R4.3.31)	400人 (R5.3.31)	400人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の影響から参加人数にばらつきはありましたが、市公式ホームページに設置した受付フォーム等から参加者を募って干潟クリーン作戦を実施し、盤洲干潟を含む自然環境の保全について啓発することができました。				
今後の方針	東京湾唯一の自然干潟である盤洲干潟の清掃活動を行うことで、盤洲干潟の保全と自然環境の保全を啓発します。				

具体的な施策② 地球温暖化対策の推進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
温室効果ガス排出量(事務事業編)	10,555 t-CO2 (R2.3.31)	10,358 t-CO2 (R3.3.31)	10,587 t-CO2 (R4.3.31)	10,300 t-CO2 (R5.3.31)	9,400 t-CO2
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	地球温暖化対策実行計画に基づき、令和2年度から募集を開始した「脱炭素社会構築に向けた推進事業に関する民間提案制度(ESCO事業)」により、新たな費用負担がなく公共施設や道路照明灯等のLED化、避難所に太陽光発電設備等の設置を行ったことで、温室効果ガス排出量の削減につながりました。 ※令和4年度の実績値が確定していないため、暫定値を記載しています。				
今後の方針	令和5年3月に改定した「木更津市地球温暖化対策実行計画」に基づき、2030年の目標に向け、市全域の地球温暖化対策を推進します。				

基本的方向(3)生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり

具体的な施策① 健康寿命の延伸

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
特定健康診査受診率	44.1% (R2.3.31)	42.6% (R3.3.31)	42.9% (R4.3.31)	42.9% (R5.3.31)	46.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による受診控え等により、目標値の達成には至りませんでした。未受診者への勧奨通知や広報きさらづによる特集記事の掲載など受診率向上に向けた取組により、県及び同規模市と比較して高い受診率を維持することができました。				
今後の方針	未受診者への個別勧奨通知の実施や利便性の向上に努め、受診率向上に向けた取組を継続します。さらに、職域健診及び人間ドック受診者の結果を活用するとともに協力機関等との連携を図ります。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
メタボリックシンドローム該当者	21.7% (R2.3.31)	22.9% (R3.3.31)	23.5% (R4.3.31)	22.3% (R5.3.31)	19.8%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	委託業者と連携し、県及び同規模市と比較して高い特定保健指導実施率を維持してきましたが、新型コロナウイルス感染症による自粛の影響で活動量の低下等が推測され、目標値を達成することができませんでした。県内順位の年推移では、改善傾向が見られます。				
今後の方針	令和4年度から委託業者が変わり、官民連携でドラッグストア店舗やZoomによる特定保健指導を実施しています。また、集団健診当日に保健指導や健康教育を実施し、利便性の向上とメタボリックシンドロームの解消を推進していきます。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
主食・主菜・副菜を取り揃えて食べている者の割合(①1.6歳児健診、②3歳児健診、③若年期健診、④特定健診)	①男児63.4%以上 女児68.8%以上 ②男児57.5%以上 女児64.1%以上 ③男性73.5%以上 女性69.2%以上 ④男性85.0%以上 女性92.6%以上 (R2.3.31)	①男児79.8% 女児78.9% ②男児77.5% 女児79.3% ③男性78.0% 女性81.0% ④男性84.9% 女性91.1% (R3.3.31)	①男児80.0% 女児78.9% ②男児76.5% 女児78.4% ③男性74.0% 女性70.0% ④男性85.4% 女性88.4% (R4.3.31)	①男児82.2% 女児83.1% ②男児81.9% 女児82.0% ③男性69.9% 女性67.4% ④男性83.7% 女性87.2% (R5.3.31)	①男児75.0%以上 女児75.0%以上 ②男児75.0%以上 女児75.0%以上 ③男性70.0%以上 女性80.0%以上 ④男性85.5%以上 女性93.0%以上
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	健康寿命の延伸に向け、健やかな体を獲得・維持するために、主食・主菜・副菜を取り揃えた栄養バランスのよい食生活を市民が実践できるよう、各健診の間診票の項目に入れ、リーフレットなどを活用した個別指導や、ポスターの掲示をしました。その結果、1歳6か月健康診査、3歳児健康診査については継続的に目標値を達成しましたが、30歳代以降の健康診査においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、健康診査やイベント等で啓発の機会が減ったため、目標値を達成できませんでした。				
今後の方針	個別指導における市民の声として、必要性は知っていても取り揃える時間がない、皿を分けずワンプレートでの盛り付けをしている、心がけているがたまに取り揃えられない日がある、などがあり、「バランスのよい食事」についての捉え方の違いのあることがわかったため、バランス食の意義と必要性の継続的な啓発に加え、簡単・時短メニューやコンビニ等での選び方などの具体的な方法をリーフレット等に加える、SNSを活用し発信する等、市民が改めて体づくりの基本である食の重要性の認識と自身の振り返りの機会が持てるよう取り組みます。				

具体的な施策② スポーツ・生涯学習による地域づくり

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
市営スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	210千人 (R2.3.31)	103千人 (R3.3.31)	119千人 (R4.3.31)	195千人 (R5.2.28)	256千人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	市営スポーツ・レクリエーション施設の利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用停止期間があったことで、利用者数が大幅に減少しましたが、感染症対策を講じてスポーツ大会を開催するなどの取組により、利用者数は増加傾向にあります。				
今後の方針	スポーツ・レクリエーション活動を推進するため、誰もが参加できる各種スポーツ大会を開催します。 また、SNS等を活用し、スポーツについての情報を発信し、今後の市営スポーツ・レクリエーション施設の利用者増加につながる取組を行います。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
公民館での地域課題に関する講座の参加者数	1,099人 (R2.3.31)	868人 (R3.3.31)	1,701人 (R4.3.31)	1,877人 (R5.4.1)	1,800人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	各公民館が「防災」や「地域の歴史文化」などのテーマを設定し事業を実施しました。家庭教育・高齢者など各種事業へのデジタル機器を活用した非対面式事業(ZOOM)の導入や、市民のデジタル化推進事業(スマホ教室・タブレット講座など)の取組により参加者数を増加させることができました。				
今後の方針	地域の現状や課題を把握し、住民とのかかわりの中でテーマを設定し、地域課題の解決に向けた事業の実施に取り組みます。また、対面事業の復活と地域コミュニティの再興に向けた事業(青少年の体験教室・コミュニティCaféなど)への取組を推進するとともに、デジタル化に対応した事業への取組についても実施することで、参加者の増加をめざします。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
出前講座の実施回数	10回 (R2.3.31)	6回 (R3.3.31)	9回 (R4.3.31)	30回 (R5.3.31)	100回
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により講座を中止することが多くありましたが、令和4年度は感染症対策を講じて講座を対面で実施するとともに、オンラインによる実施に取り組んだことで、市政の取組を学ぶ機会を提供することができました。				
今後の方針	市民の多様な学習要求に応え、市職員が市民の学習会、集会、会合に出向いて、担当する市の施策や制度、事業などを説明し、市政について理解を深めてもらうことを目的に、実施します。				

基本的方向(4)ふるさと木更津づくり

具体的な施策① 歴史・文化教育の充実

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
本市の歴史や文化に関する公開講座参加者数	224人 (R2.3.31)	0人 (R3.3.31)	497人 (R4.3.31)	726人 (R5.3.31)	500人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は公開講座が中止となりましたが、令和3年度は「化石の宝庫～木更津の大地～」、令和4年度は「新たな技術を用いた『木更津市史』編さんの取り組み」の公開講座を動画配信した結果、広く市民に周知することができ、本市の歴史や文化を学ぶ機会として一定の効果がありません。				
今後の方針	新たな木更津市史の編さんに取り組み、調査・研究の成果を刊行するとともに、公開講座やデジタルアーカイブにより情報発信を行うなど、歴史教育の充実を図ります。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
美術展覧会・コンサート参加者数	946人 (R2.3.31)	59人 (R3.3.31)	525人 (R4.3.31)	12,007人 (R5.3.31)	2,000人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となるイベントや規模を縮小して実施したものもありましたが、感染症対策を講じながら実施し、市民が芸術文化に触れる機会を提供することができました。特に、「木更津みなとぐちアートプロジェクト」では多くの来場者が木更津駅周辺でアート作品に触れ合う機会を創出し、文化の醸成を図りました。				
今後の方針	芸術文化に親しむまちづくり振興事業として千葉県警察音楽隊、自衛隊コンサートを開催し、市民へ良質な音楽を提供するほか、公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)による音楽コンサートやアート制作ワークショップ「アートとふれあおう」を開催します。				

基本的方向(5)安心で暮らしやすい防災都市づくり

具体的な施策① 地域防災の体制充実

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
総合防災訓練参加地区の割合	21.3% (R2.3.31)	36.0% (R3.3.31)	66.6% (R4.3.31)	100% (R5.3.31)	70.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から訓練を中止した地区がありましたが、毎年市職員を交えた防災訓練を実施し、住民の防災意識向上を図った結果、防災訓練参加地区の割合は100%に達しました。				
今後の方針	令和4年度において、全ての地区で防災訓練が実施されたため、令和5年度も継続して訓練を実施します。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
自主防災組織活動カバー率 【再掲】	49.7% (R2.3.31)	50.9% (R3.3.31)	53.1% (R4.3.31)	52.7% (R5.3.31)	70.0%
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	自主防災実務者講習会を3回開催したほか、ハザードマップの全戸配布等を行うなど住民の防災意識向上に努めた結果、自主防災組織は24団体増加しました。しかし、世帯数の増加により令和4年度の世帯率カバー率は前年より低下しています。				
今後の方針	今後も自主防災組織設立を促進させるため、継続的に自主防災実務者講習会や、総合防災訓練の開催を通じ、地域住民の自助・共助意識の醸成を図ります。				

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
きさらづ安心・安全メール登録 数【平成18年度からの累計】	19,865件 (R2.3.31)	21,691件 (R3.3.31)	23,758件 (R4.3.31)	23,890件 (R5.3.31)	25,000件
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	デジタルサイネージを活用して安心・安全メールの制度について周知した結果、市民の防災意識の高まりにより登録数は増加したものの、目標値には達しませんでした。				
今後の方針	目標値を達成することができなかったため、デジタルサイネージの他に広報きさらづなどに掲載し、より多くの方の目に留まり、登録いただけるよう周知を図るとともに、必要な情報を必要なときに発信することで、安心・安全メールに対する信頼性の向上に努めます。				

基本的方向(6)多様な主体との連携推進

具体的な施策① 大学や高専等との連携による地域づくり

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
大学や高専と連携した市民公開講座の延べ参加者数	403人 (R2.3.31)	未実施 (R3.3.31)	71人 (R4.3.31)	236人 (R5.3.31)	630人
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による講座の開催が難しくなったことから、市公式YouTubeチャンネルを活用したオンデマンド配信とするなど、市民の学習ニーズに応えられるよう取組を進めました。				
今後の方針	市内高等教育機関との連携を強化し、多様化高度化する市民の要望に応える学習を展開していきます。				

具体的な施策② 広域連携の推進

重要業績評価指標(KPI)	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
君津地域4市の広域的な連携や共同処理による事務の見直し	1件 (R2.3.31)	0件 (R3.3.31)	0件 (R4.3.31)	1件 (R5.3.31)	3件以上
第2期総合戦略 (令和2年度～4年度)の総括	○君津都市広域市町村圏事務組合で共同処理している救急急病医療事業や児童発達支援センターの今後の管理運営方法について検討を行いました。救急急病医療事業については、木更津市を夜間急病診療所の設置者として移管の準備を進めていく旨、組合構成市である君津市、富津市、袖ヶ浦市と合意しました。児童発達支援センターについては、愛児園の民間譲渡に向けた事業者ヒアリングの結果を踏まえ、検討を進めていく旨合意しました。 ○施設の老朽化が進んでいた火葬場施設については、君津地域4市による共同整備、共同運用のもと、令和4年12月に新たな火葬場施設「きみさらず聖苑」が供用開始しました。 ○廃棄物処理施設については、現行の君津地域廃棄物処理事業が令和8年で事業終了を迎えるにあたり、君津地域4市と安房地域2市1町が、令和9年度を始期とする次期処理施設の供用開始に向けて、SPC主体のもと、建設地の実況調査及び分析を行い、環境影響評価準備書の広告・縦覧を実施しました。 ※君津地域4市： 木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市 ※SPC： 次期廃棄物処理事業は、PFI事業により整備を進めています。PFI事業者は、資金の調達から施設の建設・運営・維持管理に至るまでの全工程に携わることとなります。この事業を実施するために、企業が事業体を組み、特別目的会社(Special Purpose Company)を設立します。				
今後の方針	○君津都市広域市町村圏事務組合で共同処理している救急急病医療事業や児童発達支援センターの管理運営については、引き続き君津地域4市の連携を強固にしながら、実現に向けて取り組んでいきます。 ○次期広域廃棄物処理施設については、引き続きSPC主体のもと、施設の設計・建設を実施し、令和9年度の供用開始を目指します。 ○少子高齢化の進行に伴う人口減少や市民の生活圏が日常的に拡大していくことを見据え、共通する行政課題に対し、近隣市等との連携したまちづくりを推進していきます。				

Ⅲ.

地域再生計画認定事業に係る令和４年度の実施効果検証

1 オーガニックシティきさらづ 交流・関係人口拡大による持続可能なまちづくり推進事業

事業概要	(担当課：経済部観光振興課)
------	----------------

ウィズコロナ・アフターコロナでの消費者・旅行者の意識やライフスタイルの変化などを見据え、木更津の価値を活かすための交流コンテンツを「ワーケーション」・「ヘルスツーリズム」・「関係人口創出」などの新たなコンセプトから捉え、木更津の資源・コンテンツの価値、ポテンシャルを最大限に引き出すための仕組み・コンテンツ開発等を行います。

また、食や交流をテーマとした体験・交流プログラムの造成等により地域ブランディングにつなげていくとともに、他地域資源と連携したツアー商品の開発等を行います。

交 付 申 請 期 間	令和2年度から令和4年度までの3年間
総 事 業 費	総事業費 70,419,000 円（交付金充当額 32,053,000 円） （内訳） 【R2】 木更津版DMO運営業務 22,483,000 円（交付金充当額 8,085,000 円） 【R3】 木更津版DMO運営業務 23,995,000 円（交付金充当額 11,997,500 円） 【R4】 木更津版DMO運営業務 23,941,000 円（交付金充当額 11,970,500 円）

[指標について]

K P I		指標①	指標②	指標③	指標④
		まちづくり事業への市民の参加人数	新たなコンセプトによるコンテンツ開発数	「食×交流」をテーマとしたコンテンツによる参加登録者数	サイクルツアー・イベントを通じた参加登録者数
事業開始前の参考値 (R2年度)		0人	0件	0人	0人
目標値		800人	17件	1,550人	180人
実績値 (達成度%)		678人(84.8%)	12件(70.6%)	183人(11.8%)	318人(176.7%)
内 訳	R2年度増加分	98人	2件	63人	41人
	R3年度増加分	240人	5件	26人	210人
	R4年度増加分	340人	5件	94人	67人
取組の評価		本市の主要イベントの1つである「木更津港まつり」の花火打上げに合わせ、花火や工場夜景等を鑑賞できるナイトクルージングツアーを開催しました。既存イベントとの相乗効果による地域ブランド力の向上を図ることができました。	関連事業者と連携し、本市の伝統産業である海苔すき体験と特産品であるブルーベリーの摘み取り体験を1日で楽しめるツアープログラムを開発・販売しました。既存の観光資源を効果的に組み合わせることで、より誘客促進を図ることができました。	木更津産のジビエや養殖サーモン等を活用した燻製体験のイベントを実施しました。地元食材を積極的に起用することで、「食」を通じた木更津ファンの獲得と地域ブランディングにつながり取組となりました。なお、参加登録者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けた人数制限等により、目標値を大幅に下回りました。	県内及び県外の中・上級サイクリストをターゲットに、南房総市と連携し房総半島を巡るサイクルガイドブックを作成し、インフルエンサーやメディア、県内サイクリング団体を招待してPRイベントを行いました。広域でのルートを設定することで話題性を集めることができ、房総半島全体の地域ブランド力を高めることができました。
今後の方針		地域住民に本市の魅力ある観光資源や伝統文化を伝え広めていくことで、まちづくり事業への関心を高めていきます。	市の里山・里海を活用したコンテンツを様々なターゲット層へ向けて企画、実施することで、関係人口の創出を促進させます。	「食」をテーマとしたコンテンツの造成や磨き上げを行い、積極的に情報発信していくことで「オーガニックシティ」としてのブランド力向上及び関係人口の創出を促進させます。	サイクリングを通して関係機関や近隣市町村と連携していくことで地域ブランディングを図っていきます。

2 「人と地域をスポーツで繋ぐ」中郷中学校跡地活用プロジェクト

事業概要

(担当課：資産管理部財産活用課)

木更津市立旧中郷中学校については、本市の中心地から離れているものの、最寄りに高速道路インターチェンジがあり、大規模な屋内運動場等を有しています。

これまでに旧中郷中学校においては、地域住民で組織するバレーボールやバスケットボール等の団体へ施設の開放を行うなど、地域のスポーツ交流拠点の場として一役を担っていました。

しかしながら、中郷地区については、少子高齢化の影響により人口減少が進行しており、旧中郷中学校の生徒数においても年々減少が進んでいる状況でした。そのような中、市内小中学校の規模見直しを行った結果、平成31年3月末に旧中郷中学校の廃校が決定したことにより、地域住民への施設開放も廃止されたことから、地域住民が身近にスポーツを親しめる場所がなくなるなど、旧中郷中学校の跡地活用は喫緊の課題となっていました。

このことから、スポーツを中心とした地域の活性化やコミュニティ機能の維持及び向上に資する有効活用を図るため、旧中郷中学校跡地活用事業として『スポーツクラブ事業』を行うものです。

本事業については、主に4つの取組から構成されており、県内外のスポーツ関係団体に向けた『宿泊事業』、本市をホームタウンとする社会人サッカーチーム拠点施設の整備やスポーツ教室の開催を行う『スポーツクラブ事業』、グラウンドや屋内運動場等の貸付を行う『施設貸出事業』、カフェの整備やオリジナルのスポーツグッズの販売等を行う『飲食・物販事業』となっています。

計 画 期 間	令和3年度から令和5年度までの3年間
---------	--------------------

[指標について]

K P I		指標①	指標②	指標③
事業開始前の参考値 (R1年度)		地域住民向けスポーツ教室開催回数 (年間)	地域住民向けスポーツ教室参加人数 (年間)	旧中郷中学校への宿泊者人数 (年間)
目標値		0回	0人	0人
実績値 (達成度%)		3回	240人	12,000人
実績値 (達成度%)		8回(266.7%)	336人(140%)	1,800人(15%)
内 訳	R3年度増加分	3回	126人	0人
	R4年度増加分	5回	210人	1,800人
	R5年度増加分	-	-	-
取組の評価		毎週スタッフミーティングを実施することによる指導方法の研究や、コーチング講習を受けることにより、スタッフの指導力を向上させ、魅力的なスポーツ教室を開催することができました。 また、スポーツに関する知識が豊富な元プロスポーツ選手等を積極的に運営スタッフとして雇用することにより、効率的かつ効果的な人材確保に取り組みました。 なお、スポーツ教室を開催することにより、木更津市の魅力を多くの方に発信することができました。 さらに、運営スタッフを積極的に雇用することにより、木更津市の雇用促進にも寄与することができました。	木更津市内の私立高校に定期的にローヴァーズ木更津FCの選手をコーチとして派遣する『コーチ派遣事業』や、スポーツメーカーのWEBCMにローヴァーズ木更津FCの選手が出演し、幅広く情報発信を行ったことにより、多くの方々にスポーツ教室に参加していただくことができました。 さらに、スポーツ教室への参加を契機として、多くの参加者が市内各所へ訪れるなど、まちの回遊につながり、スポーツ分野に限らず、地域振興に寄与することができました。	宿泊施設となる『Kisarazu Sports Village』は、令和4年9月からの供用開始となったため、年間の目標宿泊者人数には達することは出来ませんでしたが、個室型ベッドやタッチレス水栓、全室換気機能設備の搭載等、コロナ禍でも宿泊者が安心して利用できる設計となっているため、多くの宿泊者を迎え入れることができました。 また、当該施設の供用開始前には全国のスポーツ強豪校を対象にアンケート調査を行い、そこで得た意見を基に、洗濯スペースの設置、BBQサービスの開始等を行い、利用者の満足度向上にも努めました。 なお、『Kisarazu Sports Village』の供用が開始されたことにより、市内外から中郷地区へ、多くのスポーツ関係者の滞在人数の増加を図ることができ、地域の賑わいを創出することができました。
今後の方針		アリーナ(屋内運動場)等の場の提供を積極的に行うなど、スポーツ教室を多く開催できるよう取り組むとともに、スタッフの指導力を向上させ、特長あるスポーツ教室を開催することで、多くの方に木更津市の魅力を発信していきます。 また、令和5年度からは、障がい者の雇用を行うことを予定しており、誰もがスポーツを楽しむことができる機会の創出を図るとともに、市内における更なる雇用促進も期待することができそうです。	SNS、WEBCM等を活用し、さらには、元プロサッカー選手などの著名人をゲストとして招くことにより、市民のスポーツ意識を高め、スポーツ教室参加者数の確保に取り組みます。 さらに、スポーツ教室への参加をきっかけとした市内の観光名所の周遊など、観光振興等さまざまな分野において地域活性化が期待できます。 また、木更津市内のスポーツ関係者の増加を目的として、市内高校への『コーチ派遣事業』を継続して実施し、幅広く情報発信を行います。	今後は、ローヴァーズドリームフィールド(サッカーグラウンド)や市内運動場を利用し、サッカー大会を開催することを計画しており、大会参加者等の多くのスポーツ関係者が、宿泊施設である『Kisarazu Sports Village』を利用することが見込まれます。 これにより、市内のスポーツ関係者の滞在人数の増加を図ることができ、地域の更なる賑わいの創出が期待できます。 加えて、大会参加者等が市内ホテル等を利用することによる、市内の地域振興にも期待することができそうです。 指標の達成に向け、プロモーション活動等について、事業者と連携協力していきます。